

## 平成 2 5 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

- 日 時 : 平成 2 5 年 4 月 1 7 日 (水) 1 8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0  
場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター  
構成員 : 8 名  
出席者 : 5 名  
佐村 博範 (琉大病院)、宮里 浩 (那覇市立病院)、照屋 淳 (北部医師会病院) 増田 昌人 (琉大病院)、仲本 奈々 (琉大病院)  
陪席者 : 前原 克章 (よりよい地域医療を応援する会)、南 大介 (よりよい地域医療を応援する会)、笹良 剛史 (友愛会南部病院)、安里 千恵美 (琉大病院)、呉屋 葉子 (琉大病院)

## [報告事項]

## 1. 地域ネットワーク部会 委員の変更について

⇒八重山病院からの委員は、嵩下 英次郎 先生から、鈴木 英章 先生になったことが報告された。

## 2. 平成 2 4 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

⇒平成 2 4 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について承認された。

## 3. 地域連携クリティカルパス適用件数について

⇒4 月 1 6 日現在、沖縄県がん診療連携拠点病院 3 施設においてがん地域連携クリティカルパス適用数について、琉大に 4 件追加があったこと、中部病院が 1 件減ったことが報告され、合計 1 3 9 件となった。

## 4. 沖縄県保健医療計画に係るがんの医療体制図への掲載要件について

⇒事務局より、県の HP にがん医療機関の選定要件と選定要件に該当した施設が掲載されたことが報告された。

## [審議事項]

## 1. 特定非営利活動法人 よりよい地域医療を応援する会の関わりについて

⇒よりよい地域医療を応援する会の前原さんより事業について説明があった。当法人は地域医療の向上に寄与することを目的としており、地域の医療ネットワークの構築支援、医療に対する啓発活動、医療関係者を対象とした勉強会・研修会等の開催支援 (会場、外部講師の手配など) や製薬メーカー共催の依頼調整、医師会への手続き等の橋渡し業務などを行う。但し、条件として、研修会などの案内文に当法人名を『共催』として記載させて頂くこと、1 年間の活動報告ならびに収支報告書を当法人事務局へ提出するとのことだった。そのことについて、地域ネットワーク部会として関わるのではなく、別に会を設けて連携することと

なった。委員については本日部会に参加しているメンバー、欠席している部会委員には後日確認することとなった。会の名称および、事業内容については、今後決めることとなった。

## 2. 在宅緩和ケア地域連携パスの協力について

⇒南部病院の笹良先生より、在宅緩和ケア連携パスについて説明があった。高知県のを参考に、沖縄県在宅緩和ケア連携パスを作成したことが報告され、まずは、那覇市立病院と喜納クリニックで連携して欲しいと申し出があった。運用の目的としては、①在宅療養となった時に、情報が明確でない場合や、医師と患者の意見にギャップがあるなど、説明と概要、本人の意思を伝えるためのツールとして使用する。②退院時の合同カンファレンス（対象：在宅医、ケアマネ、主治医など）の資料にすること。③在宅療養患者の緊急時に、受け入れ先への病院に対して情報提供で使用する。運用方法としては、連携パスシートの紫色部分を紹介元の医師は記入、赤色部分は紹介元の病院が記入する。緑色部分を在宅訪問医師が記入する。記入は往診の度に行う。まずは、紙ベースの運用になると思うが、今後、電子媒体も視野に入れるとのことだった。委員より、これだけでは情報不足なので診療情報提供書も添付した方がいい。また、フォーマットは書き込みやすくするなど見直しが必要であり、書き方についてのマニュアルを高知県に確認して頂きたいとのことだった。

## 3. 次回の開催について

⇒次回の開催については、調整して後日連絡となった。